

2 - 2 男鹿半島の上下変動

Vertical Movements at Oga Peninsula

国土地理院 地殻調査部

Crustal Dynamics Division, Geographical Survey Institute

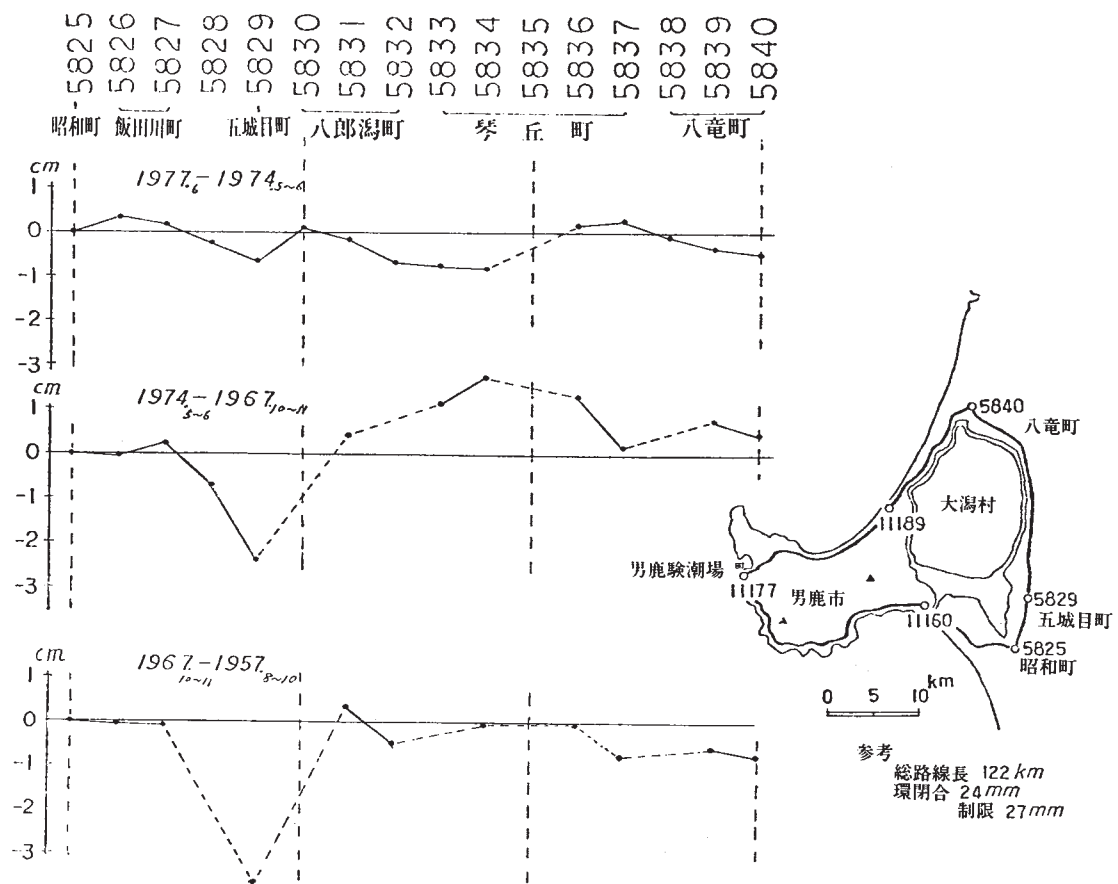
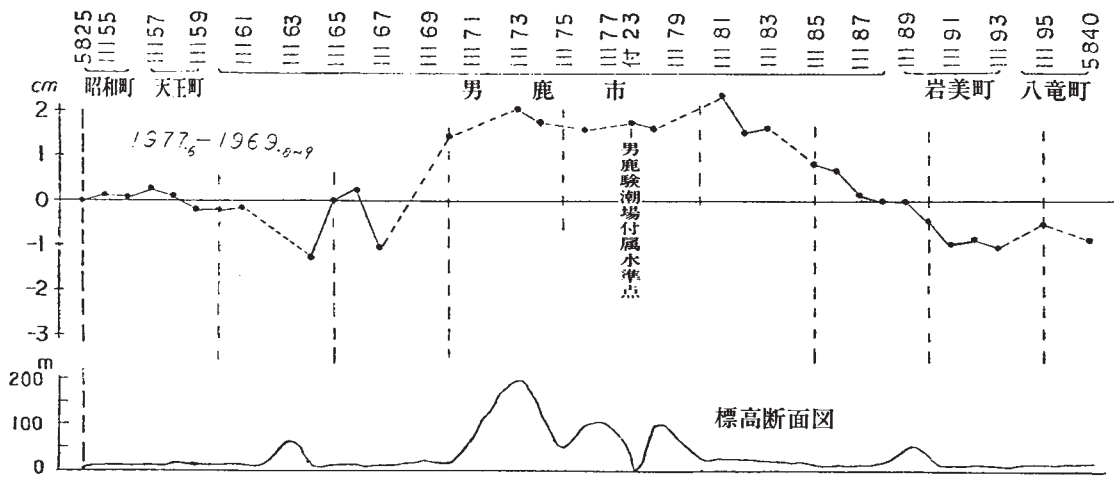
男鹿半島，八郎潟を一周する水準測量成果から得られた上下変動について報告する。

男鹿半島を回る水準路線（11155～11196）は1969年新設され，今回が初めての改測である。第1図に上下変動を示す。男鹿半島を回る水準路線については，変動図に見るごとく半島の先端部で1969年から1977年の8年間に約2 cmの隆起がみられる。一方八郎潟の東を通る水準路線では一部地盤沈下と思われる変化がみられるが，1957年から1977年の20年間有意な上下変動はないものと思われる。

半島先端部の隆起は東北大学男鹿観測所の水管傾斜計記録と量的にはともかく傾動の方向はよく調和する。

参 考 文 献

- 1) 東北大学理学部：男鹿と仁別における伸縮傾斜観測，連絡会報 **15**。(1976)，30 - 36.



第1図 男鹿半島の上下変動

Fig. 1 Vertical movements around Oga peninsula.